



EUROMONITOR
INTERNATIONAL

大学向けサービス案内



Passport利用者の声



多くの日本企業は多国籍企業化しており、そのビジネスの範囲もグローバルに広がっています。国際経営戦略を研究するためには、多国籍企業の進出先であるホスト国の市場情報、産業情報、競争環境を入手し、分析や比較をする必要があります。これらのデータはEuromonitorのデータベースを用いて入手することが可能です。慶應義塾大学商学部では1年生はミニレポートを執筆する際に、3年生以上は企業の海外進出戦略の分析や学生論文を執筆する際などや、塾外のビジネスプランコンペティションに応募する際にこれらのデータを積極的に利用しています。Euromonitorのデータを使うことでより説得力の高いプランや、論文が執筆できます。

慶應義塾大学 商学部 教授 井口 知栄 様



グローバル人材育成のための特別授業「グローバルマーケティングプロジェクト」において、Passportデータベースを利用しています。日本企業の海外進出機会が増大している時代背景の中、海外市場のDBを駆使して市場環境の現況と事業機会をレポートできる人材の価値が高まっています。2017年よりグローバルビジネスに関心があり外資系企業、海外進出企業への就業を志向している学生を募集し、グローバルマーケティングリサーチを習得するアクティブラーニングを試験的に開始しました。本授業では、実際に将来アセアン諸国への事業進出を計画している企業様より市場調査研究の課題をいただき、学生がPassportを利用し「海外市場の機会分析とレポートング」を体験学習します。Passportは今後、グローバル人材育成を目的とする授業や専門ゼミの研究活動において必要な情報基盤の一つとなると期待しています。

産業能率大学 経営学部 マーケティング学科 教授
小々馬 敦 様



新たなビジネスチャンスを求め海外進出していく企業はますます増えています。海外市場へと参入する場合、進出先の選定のためにも候補となる国や地域の諸環境の情報収集や分析は必須課題であり、こうしたデータを収集・分析し、それを基に事業プランを考えていくことができる人材を求める動きはさらに高まっていくことが予想されます。このようにグローバルに活躍できる人材として様々なデータを収集・分析し事業プランを考える下地を作るために、専修大学商学部ではPassportデータベースを活用しています。グローバルな諸環境に関するマクロ・ミクロのデータに触れることのできるこのデータベースを活用することは学生にとっての知見を広めるためにも有効です。

専修大学商学部准教授 大崎 恒次 様



Passportでは文化や経済環境が異なる様々な国、地域を同じ基準で定量的に比較すること、その背景にある定性情報や最新のトレンドをレポートで把握することが可能です。また、マクロ経済情報から特定の産業まで幅広い情報をカバーしているため、先進国でのトレンド分析から新興国を中心としたターゲット国の環境分析まで行える大変有益なツールです。消費財・流通業の分野で、グローバルに情報を取れるスタンダードなツールとして、業務に役立てています。

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 経営推進部 様



急速に商圈のグローバル化が進むクライアント企業との業務に携わるプランナーにとって、海外市場動向のキャッチアップは必須要件であり、クライアントとの共通言語としてのPassportは、いまやプランニングの現場には欠かせない存在である。

株式会社電通 クリエーティブ&ナレッジ推進センター
ナレッジシェア推進2部 (情報センター運用管轄)
部長 中谷 俊介 様



マーケティング戦略を策定する上でPassportは欠かせないツールのひとつです。その国を知り参入の可能性を模索していく上で、競合企業の多国間での市場状況の動きを知ることは不可欠であり、競争環境や店頭状況データをも網羅的に情報を取得できる有用なデータベースであると考えています。

ライオン株式会社 様



ユーロモニター インターナショナル とは

国際的市場調査会社である私たちは、企業の経営戦略策定を情報面よりサポートするだけでなく、学術機関で活用可能なデータベースを提供しています

特徴

- » 消費財をはじめとした産業、経済・消費者に関する国際的な市場調査会社
- » 世界15カ国の拠点に加え、世界100カ国に1,000人以上の専属の調査員を配置
- » 現地の言語および商習慣に精通した調査員による、より現場の実態に即した情報を提供
- » 主要サービス: オンラインデータベース Passport、個別調査 Euromonitor Consulting

Passport

オンラインデータベースPassportは、国内外の主要メーカー、小売業者、経営コンサルタント、貿易促進団体、省庁の皆様が選ぶ国際市場統計のグローバルスタンダードのひとつです

Passportとは

消費財をはじめとした各産業の市場規模やブランドシェア、各国のGDPや人口統計といったマクロ経済動向等をワンストップに見ることができるデータベースです

格納データ

- » **産業** - 市場規模(実績/予測)、会社・ブランドシェア、アナリスト分析、市場レポート等
- » **経済** - ビジネス環境に影響する政府方針、税制、人口動態、平均収入、労働環境等
- » **消費者** - 市場に影響を及ぼす消費者動向、消費者意識、トレンド、ライフスタイルの変化等

特徴

- » すべての調査対象国で一律の定義・調査方法にてデータを算出 ⇒ **各国データの比較が可能**
- » 上記データやトレンドレポート、データ分析ツールがひとつのデータベースに集約 ⇒ **情報収集の工数を削減**
- » 過去の実績データだけでなく予測データも格納 ⇒ **より精度の高い将来市場分析が可能**
- » 導入後も担当アカウントマネージャーがサポート ⇒ **使用方法説明や現地アナリストへの質問にも随時対応**

Passport Category Levelとは

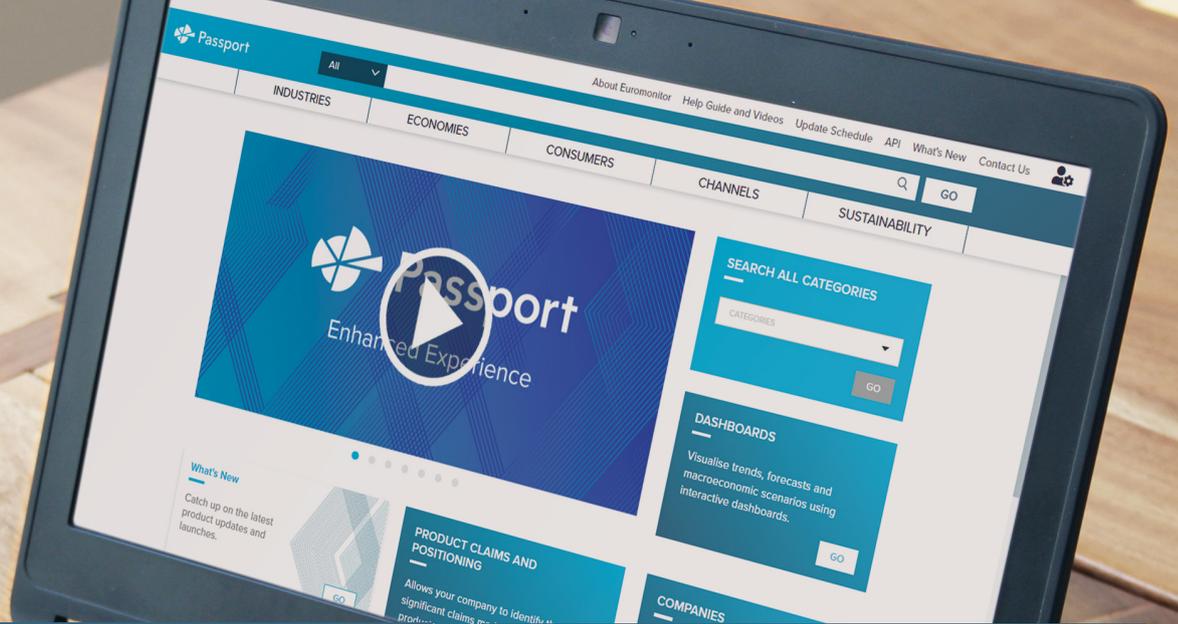
市場調査データベースPassportの学術機関向け専用パッケージ

市場戦略に関する一連の分析を研究テーマとして取り扱うことが可能です

特徴

- » 30産業の市場データと社会経済指標をパッケージ化
- » 約400種類の産業・製品カテゴリー
- » 約60万種類の社会経済指標
- » 約25,000の定性レポートを収録





大学の授業・ゼミ等で幅広く利用

実践的なケーススタディーで企業分析、競合分析、海外市場参入戦略分析にご活用頂いたり、就職活動においては志望する業界の先行き予測、業界理解に活用頂いております。

オンラインで利用可能＝学内外から学習・研究環境をサポート

わざわざ図書館に足を運ばなくても必要な産業の統計データや社会経済指標やレポートが取得いただけます。また、取得したデータはExcelでダウンロードできますのでご自分で加工し図表等の作成も容易にできます。※学外利用の可否はご契約の大学により異なります。

世界でトップランクの大学での導入実績

Financial TimesのGlobal MBA Ranking 2022の上位100大学のうち74大学でPassportを導入頂いております。

活用事例

経営学・商学・マーケティング関連

- ▶ 消費財産業データを活用しての海外市場参入演習
- ▶ マクロ経済指標を活用しての各国の所得水準、人口動態、ライフスタイルの分析等

経済学関連

- ▶ 日本・外国の経済社会に関するマクロ経済統計情報
- ▶ 旅行・観光業関連のデータ分析（各国の客の流れ、プロフィール等）ビジネス環境にまつわる各種指標、統計数値（金融環境、犯罪、国際競争力、政府の安定性、研究開発と特許等）
- ▶ 天然資源に関するデータ（農業、気候、エネルギー、大気汚染、廃棄物等）

その他人文社会・自然科学関係

- ▶ 人口関連の社会関連データ（年齢、性別、都市・地方別、出生率、婚姻状況等）
- ▶ 健康に関するデータ（肥満人口、平均摂取カロリー等）
- ▶ 世帯に関するデータ（平均サイズ、世帯主の学歴、都市・地方別、住宅戸数等）
- ▶ オンライン決済、インターネットユーザー数、携帯電話等デジタル機器の保有率等のデータ
- ▶ ライフスタイルに関するデータ（食生活、住まい、カテゴリ別購買行動、価値観、支出や貯金に対する傾向等）
- ▶ 容器や包装等のパッケージング、原料や香料に関するデータ

基本パッケージ

消費財

-  アルコール飲料
-  高級ブランド製品
-  アパレル・フットウェア
-  調味料・調理済み食品
-  美容・パーソナルケア
-  乳製品・代替品
-  家電製品
-  スナック菓子
-  電子機器
-  主食
-  OTC・ヘルスケア
-  ペットケア
-  眼鏡・コンタクト
-  パーソナルアクセサリ
-  生鮮食品
-  ソフトドリンク
-  健康ウェルネス飲食品
-  ティッシュ・衛生用品
-  ホーム・ガーデニング用品
-  タバコ
-  ホームケア
-  おもちゃ・ゲーム
-  ホットドリンク

サービス

-  コンシューマーファイナンス
-  外食フードサービス
-  小売流通業
-  旅行・観光業
-  モビリティ

サプライ

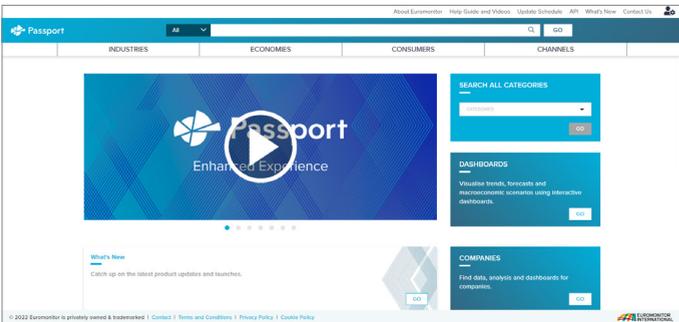
-  原料・香料
-  容器・包装

経済

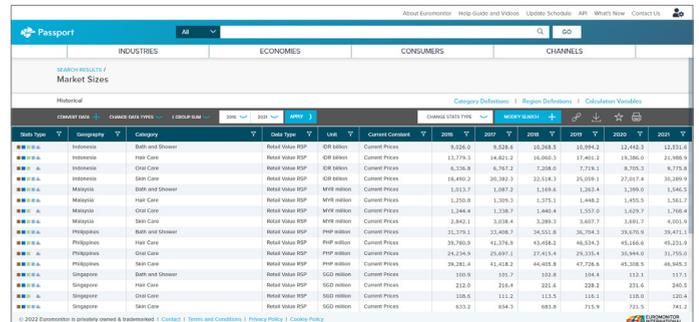
-  経済・金融・貿易
-  ビジネス環境
-  自然資源と環境

消費者

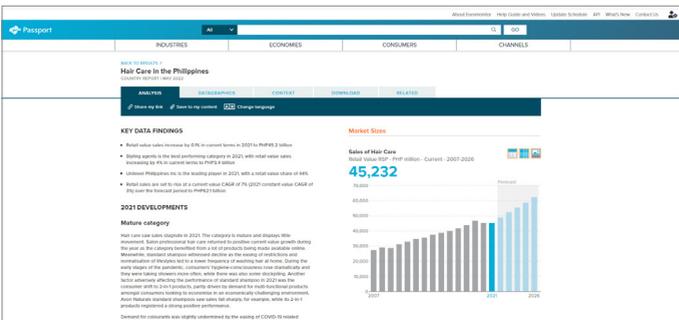
-  ライフスタイル
-  世帯プロファイル
-  デジタル・オンライン環境
-  人口
-  所得と支出



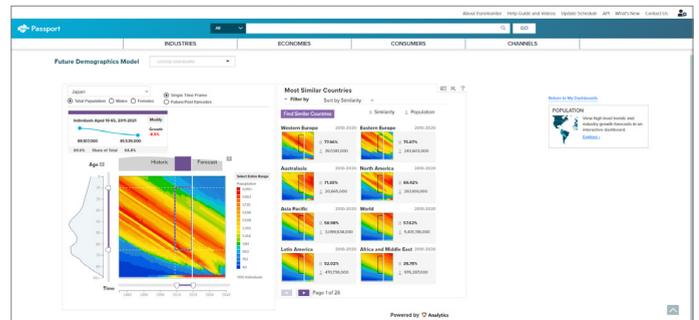
Passport Category Levelホーム画面



統計データ画面

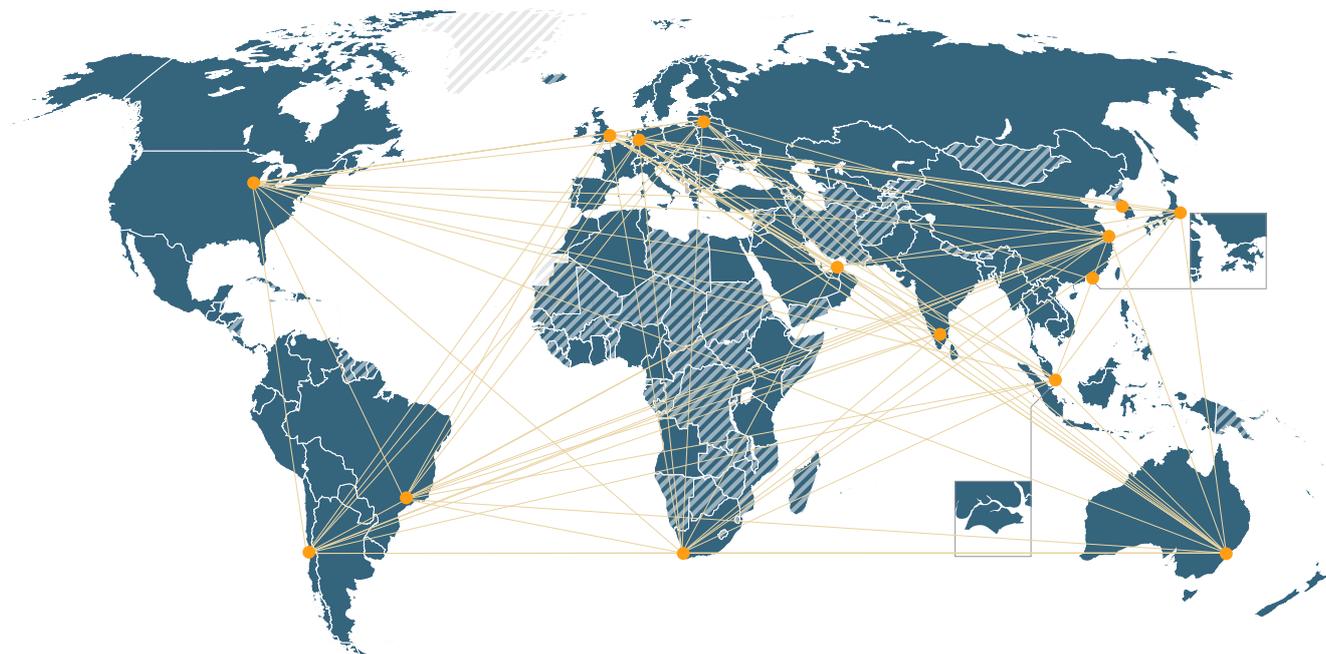


分析レポート画面



ビジュアルツールの例 (Future Demographics Model)

グローバル調査ネットワーク



● 15カ国に拠点を配置

ロンドン、シカゴ、シンガポール、上海、ヴィリニウス、サンティアゴ、ドバイ、ケープタウン、東京、シドニー、バンガロール、サンパウロ、香港、ソウル、デュッセルドルフ

■ 100カ国をカバー

消費財・サービスに関する産業調査国

■ + ▨ 210の国と地域をカバー

人口動態、消費者データ、マクロ経済指標調査国

Euromonitor International Limited
ユーロモニターインターナショナルリミテッド
本社: 60-61 Britton Street, London EC1M 5UX United Kingdom
東京事務所: 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー36階

東京オフィス代表

03-3436-2100

PASSPORTデータベースについて

www.euromonitor.com/our-expertise/passport

お問い合わせはこちら

www.euromonitor.com/our-story/about-us/tokyo

ユーロモニター公式アカウント



@EuromonitorJP



Euromonitor-International

